

日時・場所： 令和5年3月20日（月）13時30分～15時30分 教授会室
出席者(対面)： 廣川理事長、山根理事、安原理事、高橋理事
出席者(ウェブ)： 石井委員、木村委員、塚本委員
欠席者： 小倉委員、北川委員、山崎委員、宮川副理事長
オブザーバー： 環境科学部井手教授、環境科学部小泉教授、工学部松岡教授
事務局： 八里事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、川分学生・就職支援課長、
郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、出口高等専門学校開設準備室長、
西山課長補佐、西村主任主事、岡主事

※令和4年度第3回経営協議会より、出席は対面とウェブの両方を可能にしている。

【審議事項】

(1) 令和5年度計画（案）について

八里事務局次長より、資料に基づき説明があった。審議の結果、原案のとおり承認された。

[主な質疑・意見等]

- 資料p10、地域貢献3.のリカレント教育について、経済界や経済同友会と具体的にどのような形でコミュニケーションや連携をとっているのか。
→大学には社会人向けのリカレント教育が求められており、今年度は、令滋賀県中小企業家同友会と令和2年度に包括連携協定を締結し、その後継続して協議を重ね、同友会のニーズと本学が提供できるシーズを組み合わせ、リカレントプログラムを試行的に開催した。新しい課題発見能力や事業を組み立てる力を身につけるプログラムを開催し、企業の方17名と、本学の学生4名が参加した。今後も経済界と意見交換をしながらブラッシュアップをしていく。経済同友会、経済産業協会とも必要に応じて意見交換をおこない、社会に貢献できるようなプログラムを作っていく。
- 経済産業協会の立ち位置から、県立大学のような機関を活用するという視点が足りないと認識をしている。引き続き、形にとらわれないコミュニケーションを実践するため協力をお願いしたい。
→このリカレントプログラムは企業個別に、ニーズに違いがあり、いかに事前に詰めておくかが、効果的なプログラムに仕上げるポイントであり、非常に重要だと考えている。今後とも継続的に意見を出し合っていく。
- 資料p5の新たに追加する項目、「人間看護学部博士課程を創設するため、カリキュラムの編成や研究指導方法等について、検討を進める。」について、博士課程の創設は県内でのニーズが多い。現在、県内の3つの看護系大学はすべて修士課程までで、博士課程に進む場合は県外へ出ることになる。また3つの看護系大学の質を高めるために、博士の学位を持つ若い人を増やすため、非常に期待しているが、具体的な計画があれば、教えていただきたい。
→今後、看護師の増加が求められている。その為には教える側の人間、教授と教員の確保、教員のレベルアップが必要だと考えている。さらに、医療レベルが上がるなか、高いレベルの教育を受けた看護師の育成が必要になってくる。まだ現段階では確定していないが、令和7年に向けて進めるため、今後積極的に検討する。
- 滋賀県に作ることに意味がある。ぜひ博士課程を設置してほしい。
- 公立大学でも年度計画は止める方向にある。ガバナンスごとにしっかりと報告していくことになると思うが、滋賀県立大学も令和5年度で年度計画を終わるのか、令和6、7年と、今後も年度計画を作っていくのか。

→基本的に年度計画は今年度最後と考えており、それをどのような形で評価していくか、年度ごとにどのような形でPDCAを回していくかを検討しているところである。

(2) 令和4年度補正予算(案)および予算繰越(案)について

高木財務課長より、資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

(3) 令和5年度予算(案)について

高木財務課長より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

[主な質疑・意見等]

- ・「4. 県大ブランド力の強化」の項目の中で、海外留学生の受け入れという視点では何か諸施策、または目標などはあるか。

→コロナ前の受け入れ人数に戻していく方針になっている。また交換留学生の宿舎もコロナ前と同様に確保する方向で進んでいる。留学生は、私費留学生に対し、大学の魅力などについての発信力が弱いという状況があり、交換留学生については、本学の魅力など情報交換しながら、コロナ前に受け入れ人数を戻し、積極的に取り組んでいこうと考えている。

(4) (仮) 公立大学法人滋賀県立大学就業規則等の一部改正および公立大学法人滋賀県立大学高齢者部分休業規程の制定について

山田総務課長より、資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

(5) 学内規程等の改正について

山田総務課長より、資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

【報告事項】

(1) 令和4年度第3四半期までの予算執行状況について

高木財務課長より、資料に基づき報告された。

(2) 滋賀県立高等専門学校基本構想1.0(案)について

出口高等専門学校開設準備室室長より報告された。

(3) 新型コロナウイルス感染拡大予防にかかる対応について

宮川副理事長より、資料に基づき報告された。

(4) 第4期中期目標(骨子案)について

八里事務局次長より、資料に基づき報告された。

[主な質疑・意見等]

- ・「中期目標期間における主な取組(案)」(3)「産官学の連携による実践的な社会人教育の展開や地域課題解決」については、中小企業経営の中での教育ニーズ、あるいは具体的な教育の実行実践の必要性と非常に密接に関係がある。一方、(6)で組織運営の改善で触れられているが、寄付金等の積極的かつ安定的な獲得について、経済界側とも具体的な展開ができるようになると非常に重要性が高いと思っている。

→資料26p「3. 地域連携に関する目標」の①産官学連携の強化で、産業界、他大学、自治体等との連携を強化するとともに共同研究や寄附講座の開講をするとともに、産業界をリードしながら、イノベーションの創出を目指す。こういった部分を頭に置きな

がら、リスキリング教育もやっていく。運営並びに地域連携すべての面において、産業界との連携を今後も図っていききたい。

【資料配布】

- (1) 令和4年度卒業・終了予定者の進路状況等について
- (2) 令和5年度入学者選抜試験（令和4年度実施分）の日程について

【その他】

- (1) 未来人財基金への寄附に対する感謝状の贈呈について
高木財務課長より、資料に基づき報告された。
- (2) 令和5年度の経営協議会開催について
八里事務局次長より、資料に基づき連絡があった。
- (3) 公立大学法人滋賀県立大学の次期役員予定者および研究院長等予定者について
山田総務課長より、資料に基づき報告された。
- (4) 廣川理事長退任記念講演会について
山田総務課長より、資料に基づき連絡があった。
- (5) 廣川理事長、退任挨拶
- (6) 木村委員、外部委員辞任挨拶
3月31日で聖泉大学の学長を退任されるに伴い、本学の経営協議会の外部委員も辞任されることとなった。